

令和6年5月27日

中堅・中小部品サプライヤーの変革に向けた海外動向セミナーを開催します ～ドイツの事例に学ぶ 自動車部品サプライヤーの変革～

自動車業界では、CASEの進展に伴い、電動化など新たな分野への対応に迫られています。こうした大変革に直面する中で、自動車産業を支える中堅・中小部品サプライヤーにおいても、自らを変革する取組を進めていく必要があります、その際に海外動向にも目を向けることが重要です。

こうした中、中部経済産業局では、変革に立ち向かう中堅・中小部品サプライヤーの取組の参考・きっかけとなるよう、変革期に直面するドイツの自動車産業における最新動向として、電動化の進展とサプライチェーンへの影響や、変革期のサプライヤーの課題と対応等について、ドイツ・バイエルン州の自動車クラスターの代表に御講演いただきます。

1. 本セミナーの概要（詳細は、別紙チラシを参照ください。）

- ・ 日 時：令和6年6月19日（水）13:30～15:30
- ・ 会 場：ウインクあいち 13階 1301
- ・ 定 員：50名（先着順）
- ・ 対 象：岐阜・愛知・三重県の自動車部品サプライヤー企業等
- ・ 講 演：バイエルン・イノバティブ 自動車クラスター代表 ホルガー・チュダイ 氏
「欧州/ドイツ/バイエルン自動車産業の動向、エレクトロモビリティの発展とサプライチェーンへの影響 ～変革期のサプライヤーに対する自動車クラスターによる支援～」
- ・ 参加費：無料
- ・ 主 催：中部経済産業局、グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会（GNIC）
- ・ 共 催：バイエルン州駐日代表部

2. 開催の背景：

- ✓ 中部経済産業局では、中部地域の中堅・中小部品サプライヤーの攻めの業態転換・事業再構築の実現に向けて、コーディネーターによる相談対応、専門家派遣やセミナーなどを通じて支援する自動車産業「ミカタプロジェクト」（※1）を展開しています。
- ✓ また、グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会（GNIC）（※2）の活動において、中部経済産業局は、地方自治体や地域企業等と連携し、海外からの投資誘致や地域企業の海外展開を支援するために諸外国・地域との経済交流を図る中で、これまでドイツ・バイエルン州とも交流を重ねてきました。
- ✓ こうした活動や交流を基に、今般、ドイツ・バイエルン州の自動車クラスター代表のホルガー・チュダイ氏を迎え、当地域の中堅・中小部品サプライヤーを対象に、ドイツの自動車産業の最新動向について情報提供するセミナーを GNIC 及びバイエルン州駐日代表部と連携して開催します。

3. 申込方法

下記 URL から申込みください。（申込締切：令和6年6月12日（水））

<https://forms.office.com/r/u5dfZks361>

（※1）自動車産業「ミカタプロジェクト」（伴走型支援）

自動車産業「ミカタプロジェクト」は、自動車産業に関わる中堅・中小企業者の CASE 対応に向けた『見方』を示し、企業の『味方』としてサポートする事業です。具体的には、自動車の電動化の進展に伴い、需要の減少が見込まれる自動車部品に関わる中堅・中小企業者が、電動車部品の製造に挑戦するといった「攻めの業態転換・事業再構築」について、コーディネーターによる相談、専門家派遣や研修・セミナーなどを通じて支援します。

（参考1）経済産業省 自動車産業「ミカタプロジェクト」

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/automobile/mikata_project.html

（参考2）中部地域支援拠点（一般社団法人中部産業連盟 自動車サプライヤーセンター）

<https://chbmobi.meti.go.jp/>

（※2）グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会（GNIC）

名古屋を中心に概ね半径100キロメートルに広がる経済圏であるグレーター・ナゴヤ地域において、諸外国との経済交流の促進、グレーター・ナゴヤ地域への進出や事業拡大に関心のある外国企業に対するビジネスサポート等を担う、国、地方自治体、産業界、大学・研究機関で構成する支援組織。

（参考）GNIC：<https://greaternagoya.org/>

（お問合せ先）

中部経済産業局

・グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会の活動について

地域経済部国際課 課長 品田

担当：佐藤

電話：052-951-4091（直通）

・ミカタプロジェクト、その他セミナーについて

産業部製造産業課自動車関連産業室 室長 宮本

担当：鈴木

電話：052-951-2724（直通）



-自動車産業界を取り巻く環境変化に関する最新動向-

中堅・中小部品サプライヤーの変革に向けた海外動向セミナー ～ドイツの事例に学ぶ 自動車部品サプライヤーの変革～

参加
無料

本セミナーでは、ドイツ・バイエルン州の「自動車クラスター」の代表を務めるホルガー・チュダイ氏をお招きし、**変革期に直面するドイツの自動車産業における最新動向として、電動化の進展とサプライチェーンへの影響や、変革期のサプライヤーの課題と対応等**について講演いただきます。

日時

令和6年6月19日(水) 13:30～15:30

対象

岐阜・愛知・三重県の自動車部品サプライヤー企業等

会場

ウインクあいち 13階 1301 (定員：50名 / 先着順)
名古屋市中村区名駅4丁目4-38

時間	演題
13:30～13:35	開会挨拶 グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会
13:35～14:45	講演 欧州／ドイツ／バイエルン自動車産業の動向、エレクトロモビリティの発展とサプライチェーンへの影響～変革期のサプライヤーに対する自動車クラスターによる支援～ バイエルン・イノバティブ自動車クラスター 代表 ホルガー・チュダイ氏
14:45～15:00	情報提供
15:00～15:30	講師等との名刺交換会（日英通訳あり）



日英同時通訳

参加申込方法

下記ウェブページをご覧ください、申し込みをお願いいたします。
<https://forms.office.com/r/u5dfZks361>

【申込み〆切り】令和6年6月12日(水)

QRコード※からも
申込が可能です。



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

「個人情報の取扱いについて」

- 提供いただいた情報は、ミカタプロジェクトおよびGNICの運営及び関連情報の案内に使用します。
- その取扱いは経済産業省/中部産業連盟/ GNIC/講師に限定し、本人の同意なく第三者に提供しません。
- 経済産業省/ GNICの個人情報保護方針に従い適切な保護措置を講じ、管理します。

◇ 講師ご紹介

バイエルン・イノバティブ 自動車クラスター代表 ホルガー・チュダイ氏

ドイツ・バイエルン州の産業支援機関である「バイエルン・イノバティブ」が組織する「自動車クラスター」の代表を務める。イルメナウ工科大学で電気工学と経営学を学び、インダストリアルエンジニアリングの学位を取得。2008年にバイエルン・イノバティブに入社するまでの10年間、チューリングン自由州においてハイテク産業のネットワークとクラスター管理に携わる。2020年8月から代表を務めるバイエルン州の自動車クラスターでは、エレクトロモビリティや運転技術、自動車クラスターの国際化に焦点を当てた活動をしている。



バイエルン・イノバティブ

バイエルン州の産学官が連携して1995年に設立した産業支援機関。同州におけるイノベーション、技術・知識移転、ネットワーク構築の中心的な役割を担う。①デジタル、②エネルギー、③健康、④素材と生産、⑤モビリティの5分野を中心に、資金提供や相談対応、ネットワークサポート、知財アドバイス等を通じて同州の中小企業のイノベーションを支援。

URL : <https://www.bayern-innovativ.de/en>

◇ 主催

経済産業省中部経済産業局（国際課、自動車関連産業室/ミカタ・プロジェクト）、グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会（GNIC）

ミカタプロジェクト

一般社団法人中部産業連盟は、ミカタプロジェクト地域支援拠点として、中堅・中小自動車部品サプライヤー企業様の相談対応/専門家派遣やセミナーなどを実施しています。事業転換・事業再構築に関して悩みを抱えている企業様におかれましては、お気軽にご相談ください。

(<https://chbmobi.meti.go.jp/>)



グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会 (GNIC)

GNICは、名古屋を中心に概ね半径100キロメートルに広がる経済圏であるグレーター・ナゴヤ地域において、諸外国との経済交流の促進、グレーター・ナゴヤ地域への進出や事業拡大に関心のある外国企業に対するビジネスサポート等を担う、国、地方自治体、産業界、大学・研究機関で構成する支援組織です。

(<https://greaternagoya.org/>)

◇ 共催

バイエルン州駐日代表部

◇ 注意事項

- ・当日の録画・録音はご遠慮ください。
- ・当日、会場前の受付までお越しください。(名刺をお持ちください)
- ・当日は、開始30分前から入室可能となります。

◇ 問い合わせ先

運営：一般社団法人中部産業連盟 自動車サプライヤーセンター 杉藤、石原、太田、松本
TEL : 052-938-3737 E-mail: info@chbmobi.meti.go.jp <https://chbmobi.meti.go.jp/>